



2020年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社 アテクト  
 代表者名 代表取締役社長 小高 得央  
 (JASDAQ・コード4241)  
 問い合わせ先  
 責任者役職名 事業管理部 次長  
 氏 名 和田 敦  
 TEL(0748) 20 - 3400 (代表)

## 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日開催の取締役会において、下記のとおり2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要な課題の一つとして考えており、業績の伸長に合わせて、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

第51期決算において、下記3点の理由により、親会社株主に帰属する当期純利益が38百万円に減少し、また猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大による将来の先行きが不確実な中、直近の配当予想では1株当たり10円としていましたが、内部留保により資金を確保し、PIM事業を着実に進め、雇用維持を図る為、当期の期末配当金は、1株当たり3円とさせていただくことといたしました。

- ①半導体資材事業においては、第3四半期以降は米中貿易摩擦による一部顧客の在庫調整と円高・韓国ウォン/台湾ドル安の影響が生じました。更に第4四半期に入り、新型コロナウイルスによるパネルメーカーの操業調整などにより、下半期単独で67百万円、通期においても16百万と5期ぶりの減収となりました。
- ②PIM事業においては、半導体製造設備、工作機械等の世界的需要減が続く中、予定していた直動型ベアリングをはじめとする高機能部品の受注が想定を大きく下回りました。一方で2車種の自動車ターボ部品の試作を正式受注し、保有する設備及び人的資源を鑑み、新規受注獲得の為の営業活動を一時的に抑制し、試作イベント(本イベントを経て量産を開始する自動車メーカー共通の流れ)に特化しました。また、新型コロナウイルスの関係で2020年3月稼働予定であった新規中国製焼結炉3基の立ち上げが困難になったことから、本設備で量産予定であった受注残製品の出荷が次年度に持ち越しとなりました。以上より、売上は業績予想を下回りました。
- ③中期経営計画における事業再編により、不要となった設備の除却及び減損を行ない、特別損失を計上しました。

#### 2. 配当の内容

|          | 決定額        | 直近の配当予想<br>(2020年2月7日公表) | (ご参考)前期実績<br>(2019年3月期) |
|----------|------------|--------------------------|-------------------------|
| 基準日      | 2020年3月31日 | 同 左                      | 2019年3月31日              |
| 1株当たり配当金 | 3円00銭      | 10円00銭                   | 10円00銭                  |
| 配当金の総額   | 13百万円      | —                        | 43百万円                   |
| 効力発生日    | 2020年6月24日 | —                        | 2019年6月21日              |
| 配当原資     | 利益剰余金      | —                        | 利益剰余金                   |

(参考)年間配当の内訳

| 基準日            | 1株当たり配当金(円) |        |        |        |        |
|----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
|                | 第1四半期末      | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末     | 年間     |
| 当期決議額          | —           | 0円00銭  | —      | 3円00銭  | 3円00銭  |
| 前期実績(2019年3月期) | —           | 0円00銭  | —      | 10円00銭 | 10円00銭 |

以 上